



伊那市議会6月定例会では13議案と請願・陳情4件、委員会提出議案2件、議員提出議案2件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

全会一致で可決した議案など

(一般案件)

- ◆**財産(土地)の譲与**(道路防災工事が施工された市有地の譲与について可決しました。)
- ◆**請負契約の変更**(伊那インター工業団地C区画整備工事請負契約の変更について可決しました。)
- ◆**市道路線の認定 2案件**(2本の市道路線の認定を可決しました。)
- ◆**市道路線の廃止 2案件**(3本の市道路線の廃止を可決しました。)
- ◆**請負契約の締結**(伊那インター工業団地D区画整備工事請負契約の締結について可決しました。)

(条例案件)

- ◆**福祉医療費給付金条例の一部改正**(引用している法令の名称を変更する改正を可決しました。)
- ◆**水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正**(美篤の一部、西町区城南町の一部における計画変更に係る改正を可決しました。)

(令和5年度補正予算案件)

◆一般会計 2案件、企業会計2会計

(新型コロナのワクチン接種、商店街の活性化イベント補助、豪雨災害関係などに対する補正予算計4件を可決しました。)

(請願・陳情)

- ◆**「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書**(さらなる少人数学級推進、教育予算増額、義務教育費国庫負担制度の堅持などを求める意見書の提出についての請願を採択しました。)
- ◆**「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書**(へき地手当及びへき地手当に準ずる手当の支給率について近隣県並みの水準に戻すことを求める請願を採択しました。)

(委員会提出議案)

- ◆**市議会議員政治倫理条例の一部改正**(議員の市からの請負について、年額300万円を上限として可能とする改正を可決しました。)
- ◆**市議会議員の請負の状況の公表に関する条例**(議員の市からの請負の状況を公表する条例を可決しました。)

(議員提出議案)

- ◆**さらなる少人数学級推進と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出**(可決)
- ◆**へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書の提出**(可決)

賛否の分かれた議案など

請願・陳情について 採択…○、不採択…×、趣旨採択…☆
(なお、原則として議長は採決に加わりません。)

区分	件名	委員会結果	池上謙	伊藤のり子	唐木拓	小池隆	篠塚みどり	高橋姿	高橋明星	三石佳代	湯澤武	吉田浩之	小林眞由美	田畑正敏	原一馬	三澤俊明	宮原英幸	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	飯島光豊	柳川広美	白鳥敏明(議長)	本会議結果
請願・陳情	◆消費税インボイス(適格請求書等保存方式)制度の実施延期を求める陳情書(陳情)	不採択	○	×	×	×	×	☆	☆	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		不採択
	◆高齢者・障がい者のため、より利用しやすいふれあい交通サービスを求める請願(請願)	趣旨採択	☆	☆	☆	○	○	☆	☆	○	○	☆	☆	☆	☆	☆	○	○	☆	☆	○	○		趣旨採択

6月伊那市議会定例会 一般質問から

令和5年6月伊那市議会定例会の一般質問は、6月13日、14日、15日の3日間にわたって行われ、20人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



たばた まさとし
田畑 正敏



地域社協の日帰り入浴事業の再開に向けて

問

田畑正敏議員 みはらしの湯、さくらの湯が社協向け入浴プランの対象施設から外れた理由について。

答

市長 現在、飲食の提供を中止している。飲食の提供を再開させるための急な人員の配置など難しい状況である。食事提供ができる仙流荘、さくらホテルを利用していただきたい。

問

田畑正敏議員 みはらしの湯、さくらの湯は福利厚生施設として充実を図ることが求められているが。

答

市長 福利厚生施設としての役割を明確に位置付けた上で、今年度新たな指定管理者の指定を検討し、食事提供、送迎の実施も含めて調整し進めていきたい。

高校生の通学支援に向けた「おのりな号」の活用について

問

田畑正敏議員 空き時間の利用を提案するが。

答

市長 高齢者の通院時間帯と通学時間帯が重なるなど、高校生の送迎を地区社協で行うのは難しい。

問

田畑正敏議員 高校生の送迎希望者の多い地区は、支所に集落支援員を配置することはできないか。

答

市長 おのりな号の活用のための人員配置は考えていない。

犯罪被害者支援条例について



にへい ひろし
二瓶 裕史



問

二瓶裕史議員 犯罪被害者となる可能性は誰にでもあり、支援は社会全体として考えなくてはならない。条例制定の考えは。

答

市長 新たな地域間格差を生じさせる懸念がある。市町村単位の対応ではなく、県と市町村がともに対応できるようなことが必要。他の市町村を注視しながら必要性について検討したい。

空き店舗バンクについて

問

二瓶裕史議員 登録する条件として「中心市街地」とあるが、他の地域にも空き店舗は多く存在する。「中心市街地」という条件を外す考えは。

答

市長 中心市街地の活性化を制度の目的としているが、補助金を伴わないバンク登録については、拡充を検討したい。

第2期伊那市空家等対策計画について

問

二瓶裕史議員 今後の特定空家の扱いに対する市の基本方針は。

答

市長 特定空家については、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあり、その認定は、生命財産を守るとともに健全な生活環境の保全を確保するために必要な措置。協議会に意見を求めながら、必要に応じて順次認定をしていきたい。



ゆざわ たけし
湯澤 武



農業振興のためのスマート機器活用、圃場整備、観光との連携等について

問

湯澤武議員 スマート農業機器の実践的導入を。

答

市長 水路地図のデータ化やより安価な自走式草刈機、自動給水栓の実証実験と普及を行う。

問

湯澤武議員 大型農業機器、スマート機器購入。

答 市長 令和4年度から市補助の対象範囲を広げた。規模拡大などを目指す認定農業者などには国の補助も検討していただきたい。

問

湯澤武議員 高遠で特色のある食の提供を検討しては。

答

市長 意欲的な市民の主体的な取組が大切。まずは地域で検討いただきたい。

問

湯澤武議員 東春近に多様な目的を持つ「道の駅」建設への準備を。

答

市長 伊駒アルプスロードなどの開通に合わせて建設を目指すことができるよう準備を進める。

「県パートナーシップ届出制度」に対する市独自の対応について

問

湯澤武議員 県パートナーシップ届出制度の施行に合わせ、市営住宅入居が可能に。

答

市長 制度の施行に合わせ入居できるよう準備する。



からさわ ちあき
唐澤 千明



小水力発電の推進について

問 唐澤千明議員 ①農業用水路を利用した小水力発電について、県や土地改良区との連携を取り農業振興を図る上でも、積極的に導入、誘致を進めるべきだが考えを。②半永久的に発電できる小水力発電推進に向けた取組への考えは。

答 市長 ①市内には春富士区、2か所に小水力発電施設が設置されており、その売電収入は土地改良区の貴重な財源となっている。土地改良区や意欲ある民間事業者に働きかけ、支援した年度には4か所にする目標を立てている。慣行水利権の課題解決に向けて取り組み、小水力発電の普及を進めたい。

地区交通安全協会のあり方について

問 唐澤千明議員 交通安全のための意識普及、啓発及び街頭指導、交通安全教育の推進など地区交通安全協会の果たす役割は重要。伊那市が強く関わる必要があるか。

答 市長 市が一定の助成費を交付してできるだけ地域への負担がないよう取り組んでいる。市及び伊那市交通安全協会が引き続き強く関わりを持つていく。



みつしいし かよ
三石 佳代



人口減少に伴う地域の役割と林業の復活について

問 三石佳代議員 人口減少が政治の最大の課題。地域の特性を生かした地方自治の力が問われている。伊那市の特性を何と考えるかが食い違っていれば外れな政策になり効果が得られない。伊那市は合併により誕生し、各地域の特性が異なる。人口減少の最大原因である林業衰退は「雨が降ったら傘を返せ」という心無い精神であり、今の金融機関と関わりのない新しい資金調達方法をつくるために宝くじ提案をしたが、「特区申請はしない」とい

答 市長 伊那市は、二次産業が着実に生まれ、食・水・エネルギーを自ら賄い持続可能な循環社会を形成する日本を支える地方都市である。様々な文化や考えを受け入れ、イノベーションの原動力に満ちた街でもある。戦後の植林から50年以上経ち、伐期を迎えている。国産需要が減少し、経営が厳しくなった。この状況を打破するためにも、平成28年に50年の森林ビジョンを策定し、平成30年度から林業成長産業化地域創出モデル事業にも取り組んでいる。市独自の人材育成、補助にも取り組んでいる。

う回答であった。伊那市の特性と林業復活についてどう考えるか。

答 市長 伊那市は、二次産業が着実に生まれ、食・水・エネルギーを自ら賄い持続可能な循環社会を形成する日本を支える地方都市である。様々な文化や考えを受け入れ、イノベーションの原動力に満ちた街でもある。戦後の植林から50年以上経ち、伐期を迎えている。国産需要が減少し、経営が厳しくなった。この状況を打破するためにも、平成28年に50年の森林ビジョンを策定し、平成30年度から林業成長産業化地域創出モデル事業にも取り組んでいる。市独自の人材育成、補助にも取り組んでいる。



こいけ たかし
小池 隆



より利用しやすいふれあい交通サービスを指して

問 小池隆議員 ぐるっと・デジタルタクシーで、市が指定する医療、健康増進施設の利用に限り運行エリアを拡大してみたい。

答 市長 システムなどの運用面から対応できない。

問 小池隆議員 医療施設への利用に限り、時間延長、土曜日正午までの運行など、条件付き時間延長の実施を。

答 市長 現時点では難しいが、運行事業者と今後もしっかり強く検討を重ねていく。

農業・農地を守る伊那市型地産地消の確立を

問 小池隆議員 学校給食の牛乳を上伊那産おもてなし牛乳へ転換しては。

答 市長 提供回数を増やしていく関係団体と協議していく。

問 小池隆議員 「特別栽培米の聖地」としてブランド化し、収穫地ごとの特色、価値を付け販売してみたい。

答 市長 関係団体と連携し、伊那市産米ブランドのPR、販売力の向上に努めていく。

問 小池隆議員 上伊那産米粉のパン、パスタを学校給食に導入しては。

答 市長 導入に向け検討していく。

問 小池隆議員 地元農産物の販路拡大を。

答 市長 関係機関と連携し、市内での利用拡大、大都市圏への販売にも力を入れていく。



いとう のりこ
伊藤 のり子



公文書管理条例制定に向けて

問 伊藤のり子議員 ①伊那市は公文書管理において「歴史的公文書」を選別しているが、その理由は。②公共の利益や透明性、個人情報保護、文化遺産の保護など、様々な観点から「公文書管理条例」の制定が必要と思われるが。③文書の保管場所は今後どうするか。④公文書に関する研修会は行われているか。⑤最近では電子媒体が主流になっているが、それをどのように保管しているか。

答 市長 ①市誌編さん作業において選別、保管している。②条例の必要性を今後検討する。③保管場所の確保が必要であり、安全性を含め検討したい。④新規採用職員に対して文書事務に関する研修を行っている。今後引き続き、研修を行っていく。⑤国の方針が示されている。

る。過去の紙文書の電子化も含め、電子的管理の導入を検討する必要がある。

生成AI「チャットGPT」導入課題の検討

問 伊藤のり子議員 チャットGPTは、文書の作成や要約のほか、画像を作ることができ

るAIで、便利な反面、個人情報流出や著作権の侵害といった危険性も指摘されている。①伊那市が早々に試験導入に踏み切った理由と結果は。②教育現場での子どもの利用は深刻だが、対応策は。

答 市長 ①現在情報政策推進課のみで試験運用している。ルール作りやチェック体制を整えることが必要と考える。

教育長 ②国、県の指導や他団体の状況を参考にして研究を進めたい。「集う学び」を大切にしたい。

高遠町文化財保護について

問 伊藤のり子議員 高遠閣と進徳館の屋根の修繕などについて、①確実に文化庁への申請をしていただけるか。②多額の費用が想定されるが予算計上していただけるか。

答 市長 ②整備計画に基づいて、国、県の補助を得ながら

ら進めていく。
教育長 ①必要な処置について丁寧を検討していく。



今後の伊那市の鹿嶺高原開発について

問 池上謙議員 鹿嶺高原は、戦時中の牛馬の放牧のため、牧場としての利用から始まっているが、美和ダム建設による水没残存営農対策として「全村一貫水路」を敷設し、資金繰りのため高原の土地を一旦は手放

した経過がある。最初は長野県企業局の営平方式による別荘開発、伊藤忠商事株式会社による保健休養地開発構想、佐藤工業株式会社への転売などの経過を辿ったが、社会経済情勢の大きな変化により中断されてしまった。土地の買戻後も、丸紅株式会社による風力発電施設の建設構想が持ち上がり、旧長谷村は再びの大きな開発プロジェクトに期待を寄せたが、新伊那市には、「南アルプスの景観を損ねる。」と

いう理由から、開発は反対されてしまった。以後、観光資源である鹿嶺開発の新構想はないが、市長としては、今後の鹿嶺開発をどのように考えているか。

答 市長 鹿嶺高原は、現在のキャンプ場としての利用のほか、新宿区のカーボンオフセット事業や「50年の森林ビジョン」に基づいた整備が進められている。先人達が残してくれた貴重な財産を、多くの皆さんや地元の皆様にも利用していただきたい。



外国人労働者確保に向けた更なる多文化共生について

問 三澤俊明議員 今後、伊那市でも労働力不足を補うために、さらなる外国人労働力の起用が様々な分野で必要と思われるが、市長はどう考えるか。

答 市長 現状の労働力不足は承知しており、今後も不足することが想定されるため、外国人労働力の活用は必要である。「特定技能2号」の対象分野

が広がることを踏まえて、長野県が設置している「外国人材受入企業サポートセンター」との連携を取りながら市内事業者の外国人雇用を後押ししていく。

健康経営と行政のかかわりについて

問 三澤俊明議員 行政側が主になって企業側に働きかけて健康経営を推進するケースも見受けられるが、伊那市はどうか。

答 市長 伊那市では、健康経営に取り組む企業に対して直接的な支援はないが、商工会議所と連携して周知や広報活動を行っていきたい。



市道の草刈りなどについて

問 唐木拓議員 市道で市が草刈りをする基準は。

答 市長 明確な基準はないが、草により通行の妨げになる危険箇所や交通量を加味し、幹線道路を中心に実施している。市が全ての市道の草刈りを

するのは難しく、市民の皆様のご協力をいただきたい。

問 唐木拓議員 草刈りや雪かきをする市道を市民へ公開するのはどうか。

答 市長 生活基盤に関する情報公開は必要である。コスト面も含め、市全体で検討する必要がある。

ヘルメット購入補助について

問 唐木拓議員 4月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されているが、一般市民への購入補助は。

答 市長 努力義務の広報を推し進めるとともに、実態を調査し購入補助を検討したい。



高校再編からの中心市街地活性化、未来を見据えた伊那市のまちづくりは

問 原一馬議員 まちづくり推進事業によってどんなまちづくりを描いているか。

答 市長 高校再編による伊那新校の開校などから、学生たちの利便性向上のため、伊那北駅前広場や隣接エリアの再整備を検討していく。中心市街地西側は、教育機関が集まる文教的なエリアで、相互連携を充実させて価値をさらに高めていく。

問 原一馬議員 高校生を中心とした若者が滞留できる空間、企業ブースや目に触れるサテライトオフィス、起業を考える研究会やチャレンジショップ、若者が伊那市の企業を知り、郷土愛を育む、働く大人と話ができる空間の創設を提案する。

答 市長 学生たちが進学や就職を考える過程で、自らが地域を知ろう、また、地元の仕事に触れようとする貴重な経験もできる場が必要。郷土愛の醸成にもつながる。皆さんとともに考えていく。

問 原一馬議員 若者のまちな一助として、伊那弥生ヶ丘高校跡地に伊那新校などの寮をつくる提案について。

答 市長 県有の施設だが、活用方法を市から提案できるように準備していく。寮も一案として検討していく。



マイナ保険証、マイナンバーカードと個人情報保護について

問 柳川広美議員 ①マイナ保険証の受付で医療機関は大変な状況。誤登録などはあるのか。国民健康保険は。②来年10月以降マイナ保険証がない人が無保険にならない対応を。③資格確認書は10割負担か。④医療機関からの意見を聞いていないか。

答 市長 ①各保険者や伊那市国保での誤登録はない。②申請がないと判断した時には職権による交付も可能。③資格確認書でも通常の負担割合で受診できる。④医師会などから意見はいただいている。

保健福祉部長 ④医師会などから意見はいただいている。

伊那東部中学校のプール故障について

問 柳川広美議員 東部中の50mプールは漏水で使えず根本的に改修が必要。今後の方針は。上伊那・南信の水泳大会が

開ける50mプールの維持を。

答 教育長 学校プールのあり方を検討し、プール整備計画を策定する。東部中については、必要な大きさ形状などについて考え決めていく。競技団体の意見も聞く。



高遠城址公園さくら祭り
で考えることについて

問 宮原英幸議員 入園者増加対策、周辺地域経済振興についての考えは。

答 市長 団体客の減少などでインバウンドを含めた戦略が必要。15万人の入園を目指す一方、1人当たりの消費額を増やす。場所を選び、キッチンカーの出店などを含め地元の出店は歓迎したい。地域経済への波及は重要で、そば振興などによる街なか誘導を進める。使用料見直しは、必要事案が出れば検討したい。

農業・農地の未来を創る「地域計画」の策定について

問 宮原英幸議員 周知などはどうするか。

答 市長 将来の農地のあり方を話し合う極めて重要な機会である。説明会を開催、市報など含め広報する。目標地図作成には地域での話し合いが不可欠。地域の在りたい姿を共有する最後の機会と捉え、課題は庁内でも共有する。農業関係の組織体制も農家の相談窓口など課題が多く、統廃合を含めて検討が必要と考える。



選挙スタイルの見直しを！

問 高橋姿議員 若者が選挙に関心を持つには。

答 市長 モバイル市役所による期日前投票所は、高校生の投票行動へのインパクトがあった。今後も続けていく予定。

問 高橋姿議員 選挙カーの苦情は多い。時間や場所に関する候補者の申合せ機会を作ることは可能か。

答 選挙管理委員長 立候補者による申合せは妨げない

が、選管は関与できない。

問 高橋姿議員 候補者の意見を伝える手段は。

答 市長 他市では行政主導で条例による公開政策討論会の例もあるが、伊那市は市民主導が望ましい。

問 高橋姿議員 投票所やポスター掲示場の数の見直しを行い、効果的な運営を求めたい。

答 選挙管理委員長 投票所やポスター掲示場の見直し、期日前投票所の充実など、総合的に判断しながら見直しを行う。

伊那市社協の成年後見事業
における横領事件について

問 高橋姿議員 起こりえない横領事件、法人成年後見の新規受託は当面無理。外郭団体の監査などの実施は。

答 市長 必要に応じて見直しを実施する予定。

問 高橋姿議員 社協への負担や補助金を減らし、民間事業所との共同も必要では。

答 市長 今後、民間事業者との連携は一層強化を図る必要がある。



公の施設のあり方と伊那市 観光株式会社への運営について

問 吉田浩之議員 さくらホテルの今後のあり方はどのように考えているか。

答 市長 さくらホテルの廃止は考えていない。今後も魅力ある施設として存続させたい。

問 吉田浩之議員 近い将来、大規模な改築などを検討してみているか。

答 市長 施設の建替えは、経営状況から現実的でないが、大規模改修の時期に来ており財源を含めて考えたい。

問 吉田浩之議員 総務省の第三セクターに係る指針に基づいた伊那市観光株式会社

の経営の点検をしているか。

答 市長 議会への決算の説明や監査のほか、会社と担当部とが毎月打合せをしている。

問 吉田浩之議員 3月市議会定例会で出された附帯決議に係る進捗状況は。

決議に係る進捗状況は。

答 市長 6月26日の株主総会で、新たな経営計画を示す予定。

問 吉田浩之議員 千年村プロジェクトについて紹介し、認証申請時のアドバイスや経費の支援を提案するが、市長の考えは。

答 市長 協働のまちづくり交付金事業の案内や情報提供、アドバイスなどをしていきたい。



地域農業崩壊の危機から伊那市農業をどう守るかにについて

問 飯島光豊議員 集落営農法人や認定農業者の経営が資材高騰などで崩壊危機にある。市長の認識は。

答 市長 これまでも農家へヒアリングを行い対応してきた。今後も「市長と語り合い」などで農家などの実情を聞く機会を設け対応していく。

会を設け対応していく。

問 飯島光豊議員 6月の豪雨災害で富県「伝兵衛井」、高遠「弥勒井筋」、東春近「提防内水田」などが大変な被害に遭った。市の復旧対策や国などへの要請状況はどうか。

答 農林部長 農業被害は約140か所。補正予算や国補助を受けて対応する。

問 飯島光豊議員 狭い圃場区画拡大の市単補助事業を創設しては。

答 市長 市平均水田面積は9.9a。国の補助メニューとなっており、希望があれば相談していただきたい。

問 自衛隊への個人情報提供問題と除外申請について

問 飯島光豊議員 市は18歳、22歳の若者全員の氏名住所などを自衛隊に提供している。本人同意も得ておらず権利保護利益の侵害だ。県内9市のように提供はやめて閲覧に留めるべきではないか。

答 市長 「個人情報の保護に関する法律」第69条第1項では基本的に提供できないが第2項第3号で提供ができると解釈している。

問 飯島光豊議員 自衛隊に個人情報を提供されたく

ない人は、除外申請の権利があるはずだが。

答 市長 自衛隊へ情報提供を希望しない方の除外申請については、県内2市のように来年度に向けて検討したい。

問 飯島光豊議員 市民は、提供されていることも除外できることも知らない。本人には郵送や直接出向き、市のホームページ、スマホなどでも周知し、全員の同意を得るべき。

答 総務部長 ホームページでの広報が最善と考えるが、ホームページ以外についても検討したい。



デジタルタクシー、ぐるっとタクシー運行エリア見直しと時間拡充について

問 篠塚みどり議員 病院への通院など、運行エリアを見直しと時間拡充は。

答 市長 タクシーの所有台数とドライバーが少ない中で行っている。民業を圧迫し、

制度が廃止にならないよう理解して欲しい。少しずつ利便性の向上へ努力していく。

問 子宮頸がん予防HPV「9価ワクチン」接種へ。女性、男性への接種と安全性の周知について

問 篠塚みどり議員 子宮頸がん予防へ男性女性への、HPVワクチン接種と周知は。

答 教育長 中学生の男女ともに学習や講演会を実施している。ガンや疾病について正しい理解が大切。新たな成果により指導内容を整えていく。

問 保育士増員と処遇改善へ。保育士向けの補助金制度拡充と短時間勤務「お手伝い先生」で安全な保育現場確保について

問 篠塚みどり議員 保育士増員に向けての補助金制度拡充や安全な現場確保は。

答 市長 報酬、支援制度については、他市町村の動向を見て検討していく。





のぐち てるお
野口 輝雄



**一般家庭照明LED化支援
事業補助金の実施内容の拡充
とさらなる継続について**

問

野口輝雄議員 実施内容の拡充のために以下の3つの提案をする。①4000万円の提案をする。②4000万円の予算配分は市民を主にして欲しい。③昨年度申請した家庭でも、本年度も申請できるのか。また、来年度以降も継続を提案する。

答

市長 ①市民向けには昨年と同額の3000万円を配分する。②本年度も再度申請ができる。来年度以降、財源確保ができればさらにLED化を進める。③電気工事が入るとLED照明への交換箇所数が減少すると考え、家庭での電気工事費は補助対象としていない。

**サンビレッジ体育館・
テニスコート周辺の住民
の皆様への配慮について**

問

野口輝雄議員 施設周辺住民の願いを市長にお伝えし、改善を求める。

答

市長 管理体制の強化に努め、利用者のマナーの向上を図る。今後も、地域の声や要望に耳を傾け、改善すべきことは改善し、地域との共存を図ってきたい。



たかはし めいせい
高橋 明星



市長挨拶の内容確認について

問

高橋明星議員 高校でのハイレベルな学びは大切だが、資格取得後に地元に戻って来てもらえるためには何が必要と考えるか。

答

市長 地域社会、同級生などとの人間関係を作っていないでいくことが一番大事と考える。伊那新校には、中高一貫校のさらに上を行く、世界に通用する教育を要望している。

保育士不足について

問

高橋明星議員 「こども誰でも通園制度」が導入された場合、伊那市の対応は。

答

市長 特に未満児については空きがない状況であり、制度の実施は現状では難しいと考える。

問

高橋明星議員 2歳未満の子を家庭で保育する世帯に補助金を出すことを検討できなにか。

答

市長 家庭保育を支援する様々な施策を行っており、現時点で補助金の支給は考えていない。支援策を活用いただけるよう積極的に周知していく。

**譲り合い運転のまち
伊那市について**

問

高橋明星議員 伊那市は、一步脇道に入ると狭い道が多い。手前のスペースで待ったり、右折車両を見かけたら譲ったりするなど、時間と心にゆとりを持つた運転ができれば、もっと住みやすいまちになるのではないか。

答

市長 交通マナーの向上は、交通事故の抑止に大きく影響する。伊那市に合ったスローガンがあれば考え、啓発活動を続けていく。



こばやし まゆみ
小林 眞由美



**小中学校の情報モラル
教育について**

問

小林眞由美議員 児童生徒が学習用タブレットを安全に安心して活用するための対策、情報モラル教育の現状は。

答

教育長 情報モラル教育の重要性が高まる中、本年度は生徒だけではなく、保護者も参加できる情報モラル講演会を全校で実施。専門家によるネットトラブル相談窓口を設置して対応するほか、情報リテラシー教育の実施などで安全確保を行っている。

問

小林眞由美議員 誤操作を防ぐために、タブレット端末のシステム制御はされているのか。

答

教育次長 全てのタブレットにセキュリティソフトを導入し、監視するとともに、最新の防御策を講じている。アプリケーションの導入は、教育委員会で認めた範囲内のみで行える

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、原則として定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託され、審査を行います。本会議での委員長報告後、採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月17日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上、ご提出ください。)

QRコードについて

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

過去の議案などについて

過去の議案、議会中継映像などについては、市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

専用管理システムで制御しているため、誤ってインストールすることはできない仕組みとなっている。

中学2年生 職場体験報告

伊那市議会では、政治や地域への若者の関心を高め、全員に投票に行ってもらうこと、議員に立候補したいと思う若者を増やすことなどを目的に、傍聴の呼びかけや意見交換を行っています。

今年度は初めて伊那市議会での職場体験をしていただきました。

西箕輪中学校

5月16日

西箕輪中学校生徒1人の体験では、5月臨時会当日でしたので、委員会室で社会委員会協議会の傍聴、議場を



議場内、議長席の準備

本会議の傍聴をしました。

また、議場の議長席の水差しとおしぼりの準備、委員会前後の机拭きや名札準備、資料配布などの仕事を体験しました。

生徒は、初めての議場の雰囲気や、なかなか座ることのできない議長席からの眺めに驚きの声を上げていました。

傍聴では、メモを取り、話の内容をくみ取ろうと、熱心に書類に目を通す生徒の様子に感心しました。

伊那東部中学校

5月26日

伊那東部中学校生徒2人が、議会運営委員会を傍聴、正副議長と懇談し、議員2人から議会についての説明を受けました。また、資料配布等の委員会準備、議案書の袋詰め、本会議に備えての議場掃除、議場のカメラやマイクの操作を体験しました。



議員に渡す議案書の準備

接した議員からは、「とてもはきはしやべることができ、自分の意見をしっかりと持っている生徒で素晴らしい」との声がありました。中学生からは、「伊那まつり」をやって欲しいという希望がありました。

春富中学校

5月30日

春富中学校生徒1人の体験日は、上伊那広域連合議会の定例会の日でしたので、資料配布やマイクテストなどの議場準備、本会議傍聴を体験しました。正副議長ほか議員との懇談、議会要覧の印刷、中学生キャリアフェスで議員が使用する名札の作成、

「伊那市議会Facebook」の作成なども体験しました。懇談した議員からは、「将来の目標を持ち、職場体験している姿が前向きで、とても感銘を受けた、ぜひ伊那市で就職して欲しい」という感想がありました。



議場のマイクテスト

高遠中学校

6月15日

高遠中学校生徒1人の体験日は、6月定例会一般質問の日でした。議長席の準備、マイクテスト、委員会の会場準備、7月22日に行う議場コンサートチラシ配布準備作業のほか、ケーブルテレビ放送のためのテロップ出しを本会議中に行ってもらいました。



テロップ出し

生徒からは、「普段は体験できない市議会の雰囲気圧倒された。とても貴重な体験ができた」との感想がありました。

伊那市議会 ひとくちメモ

YouTube配信やごま

議場で行われた本会議や、委員会室での常任委員会の録画映像を「YouTube」で見ることが出来ます。



公式Facebookも
チェックしてください

議会の公式行事や定例会などのお知らせの他、議員活動の報告など、いろいろな情報を発信しています。



「市民と議会との意見交換会」を開催します

～あなたの意見が伊那市を元気に!～

伊那市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指して「第7回市民と議会との意見交換会」を行います。今年も市民の皆さんの思い、ご意見など、たくさんお聞かせください!

事前申込不要 どの会場にも どなたでもご参加いただけます!

期 日	開始時間	会 場	テ ー マ	担当委員会
8月10日(木)	19:00	いなっせ5階 〈伊那市生涯学習センター〉 託児あり	・公共交通のあり方について ・子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのかかわりについて	総務文教委員会
8月10日(木)	19:00	inadani sees (いなだにしーず) 〈伊那市産学官連携拠点施設〉 (西箕輪大萱)	高校再編とこれからのまちづくり ～多様な人が集うまちを目指して～	経済建設委員会
8月11日(金・祝)	10:00	高遠町総合福祉センター やますそ 託児あり	・公共交通のあり方について ・子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのかかわりについて	総務文教委員会
8月22日(火)	10:00	高遠子育て支援センター (旧高遠保育園(西高遠)) 託児あり	子育て世代の声を聞かせてください	社会委員会
9月26日(火)	19:00	高遠町総合福祉センター やますそ	これからの観光 ～人・こと・もの・技をいかして～	経済建設委員会
9月30日(土)	10:00	伊那公民館 託児あり	公園等の遊び場について	社会委員会

◆各会場、受付開始は30分前からです。所要時間は1時間半から2時間ほどを予定しています。

◆ 託児あり : 託児をご希望の方は、開催日の1週間前までに議会事務局にご連絡ください。



令和4年度 伊那西小学校会場



令和4年度 伊那公民館会場

■主催:伊那市議会 ■お問い合わせ:伊那市議会事務局 電話0265-78-4111(内線2811~2813)